

令和4年度 川西市立東谷幼稚園評価

川西市立東谷幼稚園

1 教育目標

教育目標「たくましく 心豊かな子供を育てる」を目指し、人間尊重の精神を基盤に、子供の視点に立って一人一人が自己実現できる保育の創造を図る。

2 経営方針

- 子供の学びを支える
 - ・子供が興味や関心を持って自ら参加し展開していく“子供主体”の充実した活動をめざす。
 - ・遊びの中の学びを見取り、確かな成長につなげる。
- 教師の高い資質
 - ・子供の内面理解に基づき、発達やねらいに即した保育を展開する。
 - ・研修意欲を持ち、専門職としての力量を高め合える教師集団をめざす。
- 家庭や地域との連携
 - ・家庭との連携を十分にとり、共に子供の望ましい発達を促すための生活を実現できるよう努める。
 - ・就園前幼児の遊びの場の提供、情報発信、在園児の預かり保育など、子育ての支援に努める。
- 安全で安心できる環境
 - ・環境衛生・日々の安全点検に努め、子供の遊びの動線や遊び方に配慮した安全で安心できる環境づくりを進める。

3 幼稚園自己評価結果

○実施時期 令和5年1月13日～1月21日

○対象 保護者、全職員

*A そう思う B ややそう思う C あまりそう思わない D そう思わない 各問にAからDより1つ選んで回答した人数の合計を示している。

*家庭数21 回答数18 保護者回収率85.7%

項 目	保護者				職員				・取り組みと成果 *課題や改善方策
	A	B	C	D	A	B	C	D	
①子どもの人権を尊重し、一人一人の個性や発達に合わせた教育・保育をしている。	15	2	1	0	4	3	0	0	・今年度より、公立就学前施設（幼稚園、こども園、保育所）において、同じ書式で保護者アンケート、職員の自己評価（個人・施設）を行っ

②個人情報について保護や管理に努めている。	15	3	0	0	7	0	0	0	ている。 ・今年度はミマモルメのアンケート機能を活用し、スマートフォンなどから回答してもらう手軽さもあり、回答率が上がり、さらに集計もしやすかった。今後もＩＣＴをうまく活用していきたい。 ・幼稚園教育・保育の可視化を常に心掛け、クラスだより、参観のしおりの発信、ホームページの更新、保育の取り組みについて伝達（降園前）するなど、保護者に理解してもらえるように努めてきた。それがアンケート結果となって表れたのではないかと思う。 ・保護者と職員との差異を検証したところ、大差はなかった。 *項目⑤については、職員の設問は「乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるように、食事の提供（保育所、認定こども園）を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置づけるとともに評価・改善に取り組んでいる」で、該当せず、無回答となっている。食育としては、栽培物を育て、収穫したものを、家庭で食べる取り組みはしている。コロナ禍もあり、弁当以外の物を園内で食べることはほとんどなかったもので、来年度は食育を意識しながら、できることを取り組んでいきたい。 *項目⑨では、今年度から地域学校協働活動を利用して、小学校の図書室を訪問したり、校庭で遊ばせてもらったりした。来年度は給食試食会や触れ合える交流ができるように、幼稚園の方から提案、依頼をし、取り組んでいきたい。また、小学校以外の異校種とも交流できるようにしていきたい。
③子どもが自分なりに試したり工夫したりするなど、主体的に遊ぶ力を育てている。	18	0	0	0	6	1	0	0	
④アンケート、懇談などで保護者の意見を聞き、改善に努めている。	14	3	1	0	5	2	0	0	
⑤生活や遊びの中での食育を通して楽しく食べる子どもに成長していくよう取り組んでいる。	12	4	1	1					
⑥感染症予防のために園所内の消毒や生活の配慮に努めたり、保健だよりなどで健康に関する情報を知らせたりしている。	13	5	0	0	4	1	2	0	
					5	2	0	0	
⑦避難訓練や交通安全指導などを通して、子どもが自らを守ることができるように努めている。	17	1	0	0	5	2	0	0	
⑧子どもが安全に過ごせるように環境が整備されている。	15	3	0	0	7	0	0	0	
⑨小学校や地域の幼稚園・認定こども園・保育所などと交流している。（感染症拡大防止の為今年度は未実施の場合あり）	14	4	0	0	2	5	0	0	
⑩子どもの成長や子育てについて気軽に相談できる。	15	2	1	0	7	0	0	0	
⑪子どもの成長や園生活の様子を分かりやすく伝えている。（園だより・クラスだより・ホームページ・個人懇談など）	16	2	0	0	7	0	0	0	
⑫感染拡大防止に努めながら、行事やクラス懇談など、保護者同士のつながりや子育てのサポートを大切にしている。	16	2	0	0	7	0	0	0	

※「アンケートのまとめについて（保護者配布プリント）」添付

4 学校園関係者評価結果

○評価委員会開催日 令和5年3月1日

○評価委員会参加者 学校運営協議員 4名

東谷幼稚園職員 1名

○内容 ・学校評価アンケートについて ・今後の課題と方策について

項 目	評価委員会				・評価 *今後の方策
	A	B	C	D	
①子どもの人権を尊重し、一人一人の個性や発達に合わせた教育・保育をしている。	4	0	0	0	・⑤のアンケート結果から、幼稚園で野菜を収穫し、持ち帰ったものを家庭で調理することが食育に十分つながっている。コロナ禍で食べることが減っていても、この部分はしっかり食育として取り組めている。 ・⑨のアンケート結果から、支援員として、地域や学校とのパイプ的役割をしてきたので、コロナ禍の中でも交流ができていたという結果で嬉しく思う。 ・⑩のアンケート結果から、気軽に、その時に、先生方に相談できていることが分かった。子育てに不安を抱えている人がいるので、しっかり対応できていることを実感した。これは公立幼稚園のよさである。 ・保護者のアンケートと地域から客観的に見ている幼稚園の評価がほぼ同じである。 ・教職員と見る視点が違うので、多少のずれが生じて仕方がないことである。 ・公立幼稚園のよさを地域も知っている。 ・人数が少ないことで、その分子供への対応が手厚くなる。 ・アンケート結果は実際に通園している保護者の生の声であり、この高い評価の結果をどのように発信し、東谷幼稚園のよさを伝えていく必要がある。特に就学前施設を選ぶ世代の人が見て、知ってもらうには、どのようにすればよいかを考える。 *異校種との交流を検討 ・小学校（給食試食会） ・中学校（ゲストティーチャーのような関わり） ・高校との交流（中学校より交流が図りやすいのではないかと） ・地域の私立幼稚園との交流
②個人情報について保護や管理に努めている。	3	0	0	0	
③子どもが自分なりに試したり工夫したりするなど、主体的に遊ぶ力を育てている。	4	0	0	0	
④アンケート、懇談などで保護者の意見を聞き、改善に努めている。	3	0	0	0	
⑤生活や遊びの中での食育を通して楽しく食べる子どもに成長していくよう取り組んでいる。	2	0	0	0	
⑥感染症予防のために園所内の消毒や生活の配慮に努めたり、保健だよりなどで健康に関する情報を知らせたりしている。	3	0	0	0	
⑦避難訓練や交通安全指導などを通して、子どもが自らを守ることができるように努めている。	4	0	0	0	
⑧子どもが安全に過ごせるように環境が整備されている。	4	0	0	0	
⑨小学校や地域の幼稚園・認定こども園・保育所などと交流している。（感染症拡大防止の為今年度は未実施の場合あり）	4	0	0	0	
⑩子どもの成長や子育てについて気軽に相談できる。	3	0	0	0	
⑪子どもの成長や園生活の様子を分かりやすく伝えている。（園だより・クラスだより・ホームページ・個人懇談など）	4	0	0	0	
⑫感染拡大防止に努めながら、行事やクラス懇談など、保護者同士のつながりや子育てのサポートを大切にしている。幼稚園は、園庭の花木、畑を整備し、季節を感じられるように努めている	4	0	0	0	

○学校園関係者評価については、学校運営協議会を活用し、評価委員会を行った。

○保護者対象のアンケートの結果を公表し、今年度重点的に取り組んできた教育活動を説明した。来年度に向けた課題や方策についてご示唆いただくことができた。

※「東谷幼稚園HP」に添付